

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ハビステ徳重		
○保護者評価実施期間	R8年 1月 5日		～ R8年 1月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	64世帯(利用児童数71人)	(回答者数) 26世帯
○従業者評価実施期間	R8年 1月 5日		～ R8年 1月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 8人
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 9日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職による評価や職員からの児童の聞き取りを実施し、得た情報を元に個別支援計画の原案を作成している。その後、原案の内容を職員で検討し、個別支援計画の作成を行っている。	HPやInstagramを活用し、活動内容や連絡体制などの情報を発信している。	行事予定などは発信していないため、HPやInstagramでの発信を検討していく。
2	法人内で専門職による研修を実施し、支援の向上を図るとともに参加者による伝達研修を行っている。	個室や活動フロアを学習室と遊びを行う部屋として分けたり、個室を子どものクールダウンを行うことを目的としても使用している。	学校の教育相談時に当事業所の職員も同席し、必要な支援についての情報共有を行っている。
3	児童の苦手なことに対してスモールステップで取り組み、楽しみながら活動を行えるように内容を設定し、活動を実施している。	法人内での複数事業所でのスポーツ交流会を実施し、子ども同士での交流する機会を設定した。	メール・電話・LINEを利用して保護者からの相談に応じ、必要時に面談を行っている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	屋外活動を行う際には公共施設を利用している。	屋外活動場所やスペースが事業所にはないため。	活動のスペースの確保を検討していく。
2	送迎時に事業所内の職員が減ってしまうことがあり。	様々な送迎場所に児童の送迎を実施しているため。	送迎ルートを考慮しながら配置を行っていく。
3	地域住民との交流がない。	地域住民を交えた事業所における行事を行っていない(活動の見学は随時可能)。	地域の方にも行事に参加したり見学を行ってもらえるよう、事業所の行事予定を発信するなどの方法を検討していく。